

委託事業実施内容報告書
平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【日本語教室の設置運営】

受託団体名 (財)アジア福祉教育財団

1 事業の趣旨・目的

日本で生活するインドシナ難民および条約難民等とそれらの家族ならびに難民申請者(以下、難民等)が、地域社会の中で孤立することなく生活していくために必要な日本語を習得できるよう、難民等が多数居住する地域において、既にこれら難民等に対し日本語教育を実施しているボランティア日本語教室の活動を支援し、難民等の定住生活の安定を図るとともに、他文化共生社会の基盤づくりに資する。

具体的には、日本語教室が円滑に運営されるため、以下の業務を行う。

- 難民等に日本語教育を行う日本語ボランティア団体(東日本地区4教室、西日本地区2教室、合計6教室)の活動経費等の一部を支給する
- 各教室の活動及び難民等に対する日本語指導についての状況を確認し、運営及び指導体制に関して必要な助言や調整を行う
- 教室間の情報交流を促す(運営委員会の設置)
- 難民等に対して適切な日本語指導を行う観点から、難民等が置かれている特有な背景や事情について、指導者や地域の教室における難民等の理解促進を図る

2 運営委員会の開催について

【概要】 全2回

◎第1回

開催日時 平成23年3月8日(火) 午後2時～4時

出席者 <日本語教育ボランティア団体>

葦の会 ミンガラ日本語教室 難民支援日本語教室「あおば」(2名)

<オブザーバー>

かながわ難民定住援助協会

<難民事業本部>

本部長 企画調整課長 業務課課長代行 業務課第二係員

東日本地区日本語教育相談員(2名)

<計11名>

議題

- ①平成22年度の日本語教育ボランティア団体の活動状況報告
- ②平成23年度の日本語教育ボランティア団体への支援について
- ③平成24年度以降における日本語教育ボランティア団体への支援について
- ④質疑応答／意見交換

◎第2回

開催日時 平成23年3月9日(水) 午後2時～4時

出席者 <日本語教育ボランティア団体>

がんばろう日本語(2名) 泉の会(2名)

<オブザーバー>

(特非)神戸定住外国人支援センター

<難民事業本部>

業務課第二係員 関西支部長代行 西日本地区日本語教育相談員

<計8名>

議題

- ①平成22年度の日本語教育ボランティア団体の活動状況報告
- ②平成23年度の日本語教育ボランティア団体への支援について
- ③平成24年度以降における日本語教育ボランティア団体への支援について
- ④質疑応答／意見交換

会議の概要

- ① 平成22年度の日本語教育ボランティア教室の活動状況についての報告(欠席団体については、予め報告内容を提出して頂き、当日は日本語教育相談員より活動報告を行った)。
- ② 平成23年度の「生活者としての外国人」のための日本語教育事業についての説明。当財団の支援内容(昨年度との違い等)、報告書様式等についての確認およびとりまとめ応募の進捗状況の報告。
- ③ 平成24年度以降、当財団が例年通りのとりまとめ応募が 実施不可能となった場合について、各ボランティア団体からの意見聴取。
- ④ 平成22年度精算作業に関する質疑応答及び平成23年度事業に関する質疑応答後、日本語教室の運営、指導方法、教材等についての活発な意見交換を行った。

会議の様子



<東日本地区運営委員会の様子>



<西日本地区運営委員会の様子>

3 日本語教室の開催について

教室1 「がんばろう日本語」

教室2 「泉の会」

教室3 「葦の会」

教室4 「日本語ボランティアグループ ジャボラ」

教室5 「ミンガラ日本語教室」

教室6 「難民支援 日本語教室 あおば」

4 事業に対する評価について

教室1 「がんばろう日本語」

教室2 「泉の会」

教室3 「葦の会」

教室4 「日本語ボランティアグループ ジャボラ」

教室5 「ミンガラ日本語教室」

教室6 「難民支援 日本語教室 あおば」

2. 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称 がんばろう日本語

(上期 5月~9月)

② 開催場所

姫路市立高木総合センター

所在地: 姫路市花田町小川 553

③ 学習目標

日本語レベルが初・中級の学習者は、日常の生活や職場で日本人と円滑なコミュニケーションができることを目標とする。日本滞在が長い学習者は、日本語能力試験の上級レベルを目指す。在学中の学習者は学校教材を用いて授業の補習を行い、日本人の学生と同じ授業が理解できるようにする。また、言葉の学習だけでなく、日本の社会や文化についてもより深く知ることを目指す。

④ 使用した教材・リソース

社会人用の教材として、「みんなの日本語」「しんにほんごのきそ」などの日本語学習テキストと漢字練習帳、「導入・練習イラスト集」、「やさしい作文」などの補助教材、学生用教材として、学校教科書、ドリル、ワークブックなどを使用した。また、指導者は日本語テキストの教師用指導書や日本語文法の参考書、日本語教授法の参考書、国語辞典、ベトナム語辞典などの辞書類を各自の必要に応じて使用した。

⑤ 受講者の募集方法

受講者の募集は特にしていない。

受講者の口コミで年間10名前後いるが定着率がよくない、

また、姫路市国際交流協会からの紹介もある。

⑥ 受講者の総数 23 人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦ 開催時間数(回数) 42時間 (全 21 回)

日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	○月○日 0:00~0:00	○時間	○人	○○国・○○語(○人) △△国・△△語(△人)	教授者○人 補助者○人	○○○○学習 ○○教材使用
2						
3						
4						
5						
1	5月9日 2:00~4:00	2時間	8人	ベトナム・ベトナム語 (8人)	教授者6人	日本語学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用

2	5月16日 2:00~4:00	2時間	10人	ベトナム・ベトナム語 (8人) 中国・中国語(2人)	教授者6人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
3	5月23日 2:00~4:00	2時間	8人	ベトナム・ベトナム語 (8人)	教授者5人	日本語学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
4	5月30日 2:00~4:00	2時間	10人	ベトナム・ベトナム語 (8人) 中国・中国語(2人)	教授者5人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
5	6月6日 2:00~4:00	2時間	6人	ベトナム・ベトナム語 (6人)	教授者5人	日本語学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
6	6月13日 2:00~4:00	2時間	10人	ベトナム・ベトナム語 (7人) 中国・中国語(3人)	教授者7人	日本語学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
7	6月20日 2:00~4:00	2時間	9人	ベトナム・ベトナム語 (9人)	教授者6人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
8	6月27日 2:00~4:00	2時間	7人	ベトナム・ベトナム語 (7人)	教授者4人	日本語学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
9	7月4日 2:00~4:00	2時間	2人	ベトナム・ベトナム語 (2人)	教授者1人	日本語学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
10	7月11日 2:00~4:00	2時間	7人	ベトナム・ベトナム語 (7人)	教授者4人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
11	7月18日 2:00~4:00	2時間	4人	ベトナム・ベトナム語 (4人)	教授者4人	日本語学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
12	7月25日 2:00~4:00	2時間	6人	ベトナム・ベトナム語 (5人) 中国・中国語(1人)	教授者4人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
13	8月1日 2:00~4:00	2時間	10人	ベトナム・ベトナム語 (10人)	教授者4人	日本語学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
14	8月8日 2:00~4:00	2時間	5人	ベトナム・ベトナム語 (4人) 中国・中国語(1人)	教授者3人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用

15	8月15日 2:00~4:00	2時間	1人	中国・中国語(1人)	教授者1人	教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
16	8月22日 2:00~4:00	2時間	11人	ベトナム・ベトナム語 (10人) 中国・中国語(1人)	教授者5人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
17	8月29日 2:00~4:00	2時間	8人	ベトナム・ベトナム語 (7人) 中国・中国語(1人)	教授者4人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
18	9月5日 2:00~4:00	2時間	8人	ベトナム・ベトナム語 (8人)	教授者4人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
19	9月12日 2:00~4:00	2時間	10人	ベトナム・ベトナム語 (10人)	教授者7人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
20	9月19日 2:00~4:00	2時間	10人	ベトナム・ベトナム語 (10人)	教授者6人	日本語学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
21	9月26日 2:00~4:00	2時間	14人	ベトナム・ベトナム語 (13人)	教授者5人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用

⑧ 特徴的な授業風景（2～3回分）

会場の都合で部屋の間仕切りが変わるので、全員が一つの大部屋で勉強する場合と、小さい部屋を3部屋ほど使う場合がある。勉強は午後2時から始まる。学習者は時にはかなり早く来る人もいるが、大抵の場合は、先に指導者が会場に来て待っている。学習者の中には始まる直前になって、指導者の携帯電話に休む旨の連絡を入れてくる人もいる。また、何の連絡もせずに来ない人や、15分ぐらい遅れて来る人も時々いる。会場まで車で一緒に乗り合わせてくる学習者もいるので、開始時刻の2時になると教室が急ににぎやかになる。新しい学習者が現れた場合は、その人のレベルに応じて、なるべく同じレベルの学習者がいるグループに入ってもらふ。しかし、一人の指導者がレベルの違う学習者を複数教えることも頻繁にある。勉強が始まると、口頭練習やテープ、指導者の説明の声などでかなり騒がしくなる。また、課題を与えられて、答えを書いている学習者は周りの騒がしさをよそに、勉強に没頭している人も多い。しかし、3時半を回ると、そろそろ疲れたり飽きてくる学習者もあり、トイレ休憩や、水を飲みに行く場面も時々見られる。子供以外の学習者は全員自主的に来ているので、全体的に学習意欲は高い。しかし、2年ぐらい続けてもあまり上達を感じられない場合や、逆にかなり日本語会話が出来たと自分で感じた場合は、初級後半ぐらいで来なくなってしまうこともある。4時になると、全員が一斉に勉強を

やめて、机と椅子を元の位置に戻す。（会場では教室ごとに机の配置図が置いてある。）指導者が、会場のエアコン、照明、ブラインド、本棚として使っているロッカーの施錠などを確認してから最後に会場を出る。外の駐車場に残っている学習者がいないことを確認して、4時20分くらいまでに全員が帰途に就く。

⑨ 活用した日系人等（日本語を母語としない）の名簿

氏名	母語（国籍）	来日年（日）数	参加回数	当該教室での役割
〇〇〇〇	〇〇語（〇〇国）	〇〇年	〇〇回	授業補助，通訳
なし				

⑩ 支援者の名簿（⑨以外）

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
〇〇〇〇	〇〇協会主宰	日本語教育能力検定試験合格	〇〇回	アドバイザー
なし				

3. 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

ほとんどの初級学習者はまだ日本人と自由に意思疎通ができるほどには上達していないが、2年ぐらい続けている学習者の中には指導者の言うことをかなり理解できるようになった人も数人いるので、当初の初級者の学習目標は達成されつつあると考えている。日本語能力試験を目指している人は、まだ実際の試験を受けるまでには至っていない。各自の希望に合わせた問題集を選んで学習を進めているので、止めずに続ければそのうち合格できるのではないかと期待している。

② 学習者の習得状況

日本語テキストで勉強している学習者は、理解できる語彙や表現が着実に増えているが、それらを実際の会話で使用できるようになるまでにはまだ少し時間がかかりそうである。会話の上達度は、学習者の性格や、普段日本人とどれぐらい頻繁に接触するかによって異なる。また、就職や進学などに関連して日本語習得の必要性を強く感じている人ほど熱心に学習するので上達が速い傾向がある。そのような学習者の中には、当教室以外のボランティア教室にも通って、なる

べく日本語学習の機会を増やそうとしている人もいる。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

単に日本語支援だけでなく地域の人とニューカマーとの交流イベントへの参加勧誘などに協力し、ニューカマーの参加者増に成果を上げている。結果として参加者数の増加。

(スピーチコンテスト、国際交流フェスティバル)

教室出席者たちの交流、情報交換の場としての効果が見られる。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果、等

会場提供の公民館のある地域活性化のための一助となっている。

地域社会の取り決め等への協力呼びかけやニューカマーの希望や依頼の仲立ちをする。

⑤ 改善点、今後の課題について（具体的に記述する。）

a. 現状

グループとしては、組織性、計画性の面にかけるところがある。

構成員（講師）のスキルアップ等の面にも他の機関を頼っている。

b. 今後の課題

グループ内での協議、研修等の時間設定が必要。

受講者の継続性をどのようにつけるか。

学習目標の設定をどこにおくか。

他の関係機関との連携、協議会等への出席をグループとしてどうするか。

子育て中とかニューカマーの散在地域への働きかけをどうするか。

講師の各家庭への派遣についての問題。

c. 今後の活動予定，展望

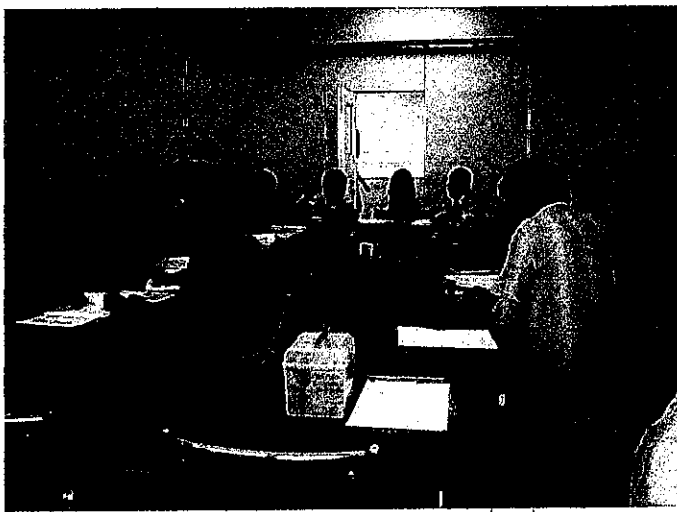
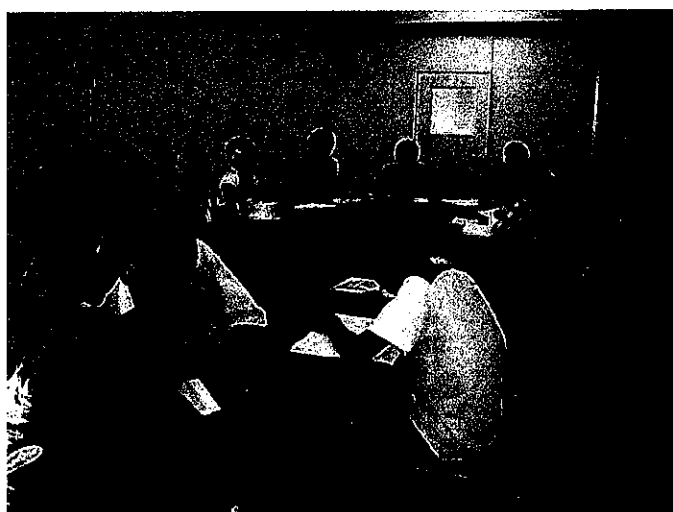
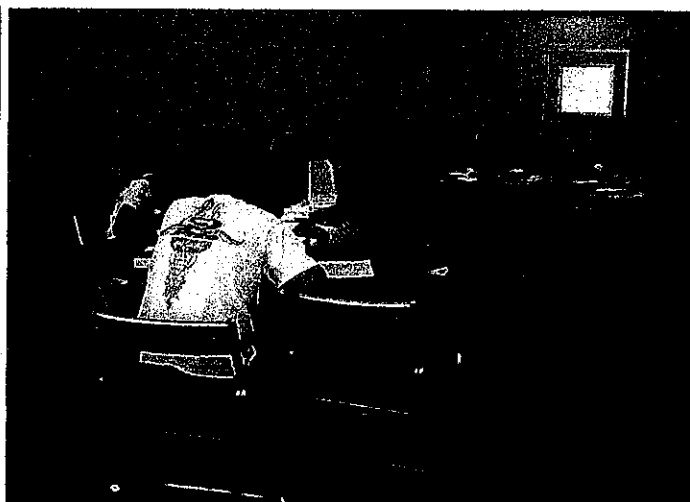
現状の課題の検討と支援活動の継続を重視して活動。

姫路地区の特徴であるニューカマーの集合地域での支援活動のみでなく、散在地区の人たちへの働きかけも視野に入れる。

⑥ その他参考資料

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えのないものを添付すること。

がんばろう日本語 勉強風景写真



下期(10月～2月)

② 開催場所

姫路市立高木総合センター

所在地:姫路市花田町小川 553

③ 学習目標

日本語レベルが初・中級の学習者は日常の生活や職場で日本人と円滑なコミュニケーションができることを目標とする。

日本滞在が長い学習者は、日本語能力試験の上級レベルを目指す。

児童生徒は学校教材を用い、授業の補習を行い、日本人児童生徒と同じ授業が理解できるようにする。また言葉の学習だけでなく、日本の社会や文化についてもより深く知ることを目指す。

普通自動車免許取得希望者に対しては免許取得のための練習問題をする。

④ 使用した教材・リソース

社会人用の教材として、「みんなの日本語」「しんにほんごのきそ」などの日本語学習テキストと漢字練習帳、「導入・練習イラスト集」、「やさしい作文」などの補助教材、生徒用教材として、学校教科書、ドリル、ワークブックなどを使用した。また、指導者は日本語テキストの教師用指導書や日本語文法の参考書、日本語教授法の参考書、国語辞典、ベトナム語辞典などの辞書類を各自の必要に応じて使用した。指導者も自動車免許取得のための問題集を使用する。

⑤ 受講者の募集方法

(※どこでどのような媒体を使って募集したかを記載。なお、募集のチラシ等があれば添付すること。)

受講者の募集は特にしていない。

受講者の口コミで年間10名前後新学習者が来るが定着率がよくない、

口コミ以外では、姫路市国際交流協会からの紹介もある。この場合は、全くの初心者である。

⑥ 受講者の総数 26 人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦ 開催時間数(回数) 36 時間 (全 18 回)

日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
1	○月○日 0:00~0:00	○時間	○人	○○国・○○語(○人) △△国・△△語(△人)	教授者○人 補助者○人	○○○○学習 ○○教材使用
2						
3						
4						
5						
1	10月3日 2:00~4:00	2時間	8人	ベトナム・ベトナム語 (8人)	教授者6人	日本語学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用

2	10月17日 2:00~4:00	2時間	9人	ベトナム・ベトナム語 (9人)	教授者7人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
3	10月24日 2:00~4:00	2時間	8人	ベトナム・ベトナム語 (8人)	教授者4人	日本語学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
4	10月31日 2:00~4:00	2時間	9人	ベトナム・ベトナム語 (9人)	教授者6人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
5	11月7日 2:00~4:00	2時間	12人	ベトナム・ベトナム語 (12人)	教授者7人	日本語学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
6	11月14日 2:00~4:00	2時間	10人	ベトナム・ベトナム語 (10人)	教授者8人	日本語学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
7	11月21日 2:00~4:00	2時間	10人	ベトナム・ベトナム語 (10人)	教授者5人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用

15	2月6日 2:00～4:00	2時間	7人	ベトナム・ベトナム語 (7人)	教授者6人	教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
16	2月13日 2:00～4:00	2時間	6人	ベトナム・ベトナム語 (6人)	教授者3人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
17	2月20日 2:00～4:00	2時間	10人	ベトナム・ベトナム語 (10人)	教授者6人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用
18	2月27日 2:00～4:00	2時間	9人	ベトナム・ベトナム語 (9)	教授者5人	日本語、教科学習 教科書、問題集、 参考書、辞書使用

⑧ 特徴的な授業風景（2～3回分）

（特徴が最もよく表れた日の授業報告を詳細に記載。）

日本語を教えるボランティア活動は、高木総合センターでの定期開催以外にも、個人宅を訪問して行うこともある。ここでは主な活動場所である高木総合センターでの授業風景を報告したい。会場は無料で借りているので、会場側の都合で年に1,2回使えなくなることもあり、その時は日本語教室を休みにしている。また、2月から3月にかけて会場で納税相談が行われるため、別の階に移動して開催している。また、部屋の間仕切りも会場の都合で変わることがあるが、いずれの場合も、20～30名のぐらいの学習者を受け入れるスペースは確保されている。

学習者の顔触れはかなり流動的で、なかには数年続けて通っている人もいるが、数回来ただけでやめてしまう人もかなりいる。新しい学習者は既学習者の職場の同僚、友人、親戚などが多く、特に最近ベトナムから来て、日本に住み始めて1年未満の人が多く。事前連絡なしで新しい学習者が教室に現れることが多いので、教室開催時最初に行うことは、どの指導者が誰を担当するかを決めることである。続けてきてくれる学習者には毎回できるだけ同じ指導者が担当するようにしているが、問題は学習者が時間通り集まらないことである。授業は2時から始まることになっているが、その時点で指導者は全員揃っているが、学習者はほとんど来ていないこともある。来た人から順番に指導者を割り当て、勉強を始める。

一旦勉強が始まり学習者の数が増えてくると練習や説明の声で教室はかなりにぎやかになる。勉強への集中度は高く、教室全体に熱気がこもる。教材は日本語教科書や副読本を使うグループや、自動車教習のテキストなどの実用書を使うグループ、学校教科書を使うグループなど学習者の要望に応じて、幅広い教材を使用している。また、学習書は自分で持ってくる以外に、教室のロッカーにある本を使う人も多い。最近、日本語がかなり上手なベトナム人がベトナム語で初級者の学習を助けることもある。日本人の指導者は、そのようなベトナム人に細かい説明ポイントを学習者の母語で伝えてもらえる利点がある。しかし、母語会話が增多するという欠点もあるので、学習者にたくさん日本語を使わせる工夫もしている。

勉強会は4時までだが、その時点でまだ熱心に続けているグループも多い。しかし、会場の後片づけがあるので、4時を回ると全員で机や椅子を元に戻し、ブラインドを下ろす。最後に指導

者が、エアコンや照明、戸締まり、学習者が帰途についたことなどを確認して会場を去る。

⑨ 活用した日系人等（日本語を母語としない）の名簿

氏名	母語（国籍）	来日年（日）数	参加回数	当該教室での役割
〇〇〇〇	〇〇語（〇〇国）	〇〇年	〇〇回	授業補助、通訳
ファム・ホン・タン	ベトナム語 （ベトナム）	31年	10回	授業補助、通訳

⑩ 支援者の名簿（⑨以外）

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
〇〇〇〇	〇〇協会主宰	日本語教育能力検定試験合格	〇〇回	アドバイザー
なし				

3. 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

初級学習者はまだ日本人と自由に意思疎通ができるほどには上達していない。2年ぐらい続けて、指導者の言うことをかなり理解できるようになった人もいる。当初の初級者の学習目標は達成されつつあると考えている。日本語能力試験を目指している人は、まだ実際の試験を受けるまでには至っていない。各自の希望に合わせた問題集を選んで学習を進めているので、止めずに続ければそのうち合格できるのではないかと期待している。

自動車運転免許取得希望者も日本語理解と試験問題の正誤判断が必要なので時間がかかる。

② 学習者の習得状況

日本語テキストで勉強している学習者は、理解できる語彙や表現が着実に増えている。それらを実際の会話で使えるようになるまでにはまだ少し時間が必要である。会話の上達度は、学習者の性格や、普段日本人とどれぐらい頻繁に接触するかによって異なる。また、就職や進学などに関連して日本語習得の必要性を強く感じている人ほど熱心に学習するので上達が速い。そのような学習者の中には、当教室以外のボランティア教室にも通って、なるべく日本語学習の機会を増やそうとしている人もいる。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

単に日本語支援だけでなく地域の人とニューカマーとの交流イベントへの参加勧誘などに協力し、ニューカマーの参加者増に成果を上げている。結果として参加者数の増加。

(スピーチコンテスト、国際交流フェスティバル)

教室出席者たちの交流、情報交換の場としての効果が見られる。

日本語学習支援のボランティアグループの情報交換の場が増え、学習者への情報提供も行える。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

会場提供の公民館のある地域活性化のための一助となっている。(日本文化の紹介＝餅つき等)

地域社会の取り決め等への協力呼びかけやニューカマーの要望や依頼の仲介役をすることにより地域から感謝されている。

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

ボランティアグループとして、組織性、計画性の弱点がある。今後、組織の整備、企画面の強化が望まれる。実現の方法は、会長以下事務局等の役割分担をし、各人が意欲的にグループを支援する。そのための資金援助が必要である。

構成員(講師)のスキルアップ等の面にも他の機関を頼っているがグループ内での研修等があり、外部からの講師派遣等があれば講師の意欲が増す。

b. 今後の課題

グループ内での協議、研修等の時間設定が必要。

受講者の継続性をどのようにつけるか。

学習目標の設定をどこにおくか。

他の関係機関との連携、協議会等への出席をグループとしてどうするか。

子育て中とかニューカマーの散在地域への働きかけをどうするか。

講師の各家庭への派遣についての問題点。

c. 今後の活動予定、展望

現状の課題の検討と支援活動の継続を重視して活動。

姫路地区の特徴であるニューカマーの集合地域での支援活動のみでなく、散在地区の人たちへの働きかけも視野に入れる。このことに関してのグループ全員の意思確認と支援体制の継続の問題がある。

生活者としての外国人支援の行政関係の継続性に疑問点がある。

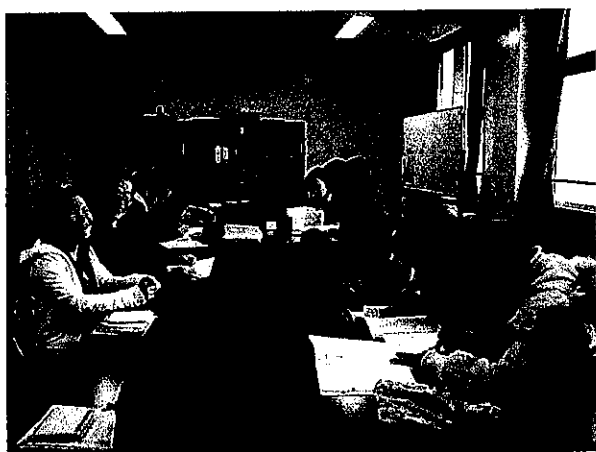
いつ打ち切りがあるかの問題である。余り組織を大きくすることへの不安である。

⑥ その他参考資料 (教室風景の写真を数枚添付。)

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。

勉強風景 教室名: がんばろう日本語.

撮影期間: 平成 22 年 10 月～平成 23 年 2 月



2. 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

園田北小学校ユイ教室及び個別指導

② 開催場所

尼崎市立園田北小学校及び学習者宅

③ 学習目標

学年に応じた教科学習支援と日本語指導

④ 使用した教材・リソース

ひろこさんの楽しい日本語・教科書・ドリル等・フラッシュカード

⑤ 受講者の募集方法

なし（※どこでどのような媒体を使って募集したかを記載。なお、募集のチラシ等があれば添付すること。）

⑥ 講者の総数 8 人（延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。）

⑦ 開催時間数（回数） 86 時間（全 42 回）

日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
1	5月10日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者2名	日本語指導 教科書・ドリル
2	5月25日	1.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者1名	日本語指導 教科書・ドリル
3	5月31日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者2名	日本語指導 教科書・ドリル
4	6月7日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者1名	日本語指導 教科書・ドリル
5	6月11日	1.5時間	6人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者1名	日本語指導 教科書・ドリル
6	6月14日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者1名	日本語指導 教科書・ドリル
7	6月21日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者1名	日本語指導 教科書・ドリル

8	6月22日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 2 名	日本語指導 教科書・ドリル
9	6月29日	1.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1 名	日本語指導 教科書・ドリル
10	7月6日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 4 名	日本語指導 教科書・ドリル
11	7月12日	1.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1 名	日本語指導 教科書・ドリル
12	7月13日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1 名	日本語指導 教科書・ドリル
13	9月10日	2.5時間	6人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者 1 名	日本語指導 教科書・ドリル
14	9月14日	1.5時間	6人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者 1 名	日本語指導 教科書・ドリル
15	9月15日	1.5時間	6人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者 1 名	日本語指導 教科書・ドリル
16	9月17日	2.5時間	6人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者 1 名	日本語指導 教科書・ドリル
17	5月1日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語 1	教授者 1 名	作文指導 時事問題
18	5月8日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語 1	教授者 1 名	作文指導 時事問題
19	5月15日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語 1	教授者 1 名	作文指導 時事問題
20	5月22日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語 1	教授者 1 名	作文指導 時事問題
21	5月27日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語 1	教授者 1 名	作文指導 時事問題
22	5月29日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語 1	教授者 1 名	作文指導 時事問題
23	6月1日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語 1	教授者 1 名	作文指導 時事問題
24	6月4日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語 1	教授者 1 名	作文指導 時事問題
25	6月5日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語 1	教授者 1 名	作文指導 時事問題

26	6月8日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
27	6月12日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
28	6月16日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
29	6月19日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
30	6月26日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
31	6月28日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
32	7月3日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
33	7月5日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
34	7月10日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
35	7月17日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
36	7月31日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
37	8月7日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
38	8月14日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
39	8月21日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
40	9月4日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
12	9月11日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
42	9月18日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題

特徴的な授業風景（2～3回分）

（特徴が最もよく表れた日の授業報告を詳細に記載。）

- ・ 日本文化の紹介で、七夕の行事を行った。
- ・ 日本の城の本を見せて、日本の歴史について話をした。

⑧ 活用した日系人等（日本語を母語としない）の名簿

氏名	母語（国籍）	来日年（日）数	参加回数	当該教室での役割
〇〇〇〇	〇〇語（〇〇国）	〇〇年	〇〇回	授業補助、通訳

⑨ 支援者の名簿（⑨以外）

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
〇〇〇〇	〇〇協会主宰	日本語教育能力検定試験合格	〇〇回	アドバイザー
浅井 清子	泉の会		35	指導者
杉野 竜美	泉の会		9	指導者
松田 京子	泉の会		2	指導者
千星 純子	泉の会		2	指導者

3. 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

教室の開催日数が予定より少なく、十分ではないが概ね達成できている。

② 学習者の習得状況

編入者は日本語の習得が不十分である。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

学校の教育方針に従ってサポートしているが、加配教諭の指導を補って、効果を

上げている。

- ④ 地域の関係者との連携による効果，成果 等
なし

- ⑤ 改善点，今後の課題について（具体的に記述する。）

a. 現状

学校行事や加配教諭の出張が多く、ユイ教室を開催できないことが多々ある。

b. 今後の課題

限られた教室開催時間を有効に活用し、指導に当たりたい。

c. 今後の活動予定，展望

正月に向けて、かるたや百人一首を教え日本の伝統的な遊びに馴染ませる。

- ⑥ その他参考資料 （教室風景の写真を数枚添付。）

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。

2. 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

園田北小学校ユイ教室及び個別指導

② 開催場所

尼崎市立園田北小学校及び学習者宅

③ 学習目標

学年に応じた教科学習支援と日本語指導

④ 使用した教材・リソース

ひろこさんの楽しい日本語・教科書・ドリル等・フラッシュカード
みんなのにほんご初級 携帯用絵カード やさしい作文

⑤ 受講者の募集方法

なし（※どこでどのような媒体を使って募集したかを記載。なお、募集のチラシ等があれば添付すること。）

⑥ 講者の総数 8 人（延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。）

⑦ 開催時間数（回数） 90.5 時間 （全 43 回）

日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
1	10月4日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
2	10月5日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
3	10月12日	1.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
4	11月9日	1.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
5	11月17日	1.5時間	6人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
6	11月22日	1.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 2名	日本語指導 教科書・ドリル
7	11月25日	1.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル

8	12月3日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
9	12月8日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
10	12月10日	1.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
11	12月15日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
12	12月22日	2.5時間	8人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
13	1月13日	2.5時間	6人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
14	1月23日	2.5時間	6人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者 2名	日本語指導 教科書・ドリル
15	1月31日	1.5時間	6人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
16	2月1日	2.5時間	6人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
17	2月8日	2.5時間	1人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
18	2月14日	2.5時間	1人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
19	2月16日	2.5時間	1人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 3	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
20	2月18日	2.5時間	1人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
21	2月22日	2.5時間	1人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
22	2月23日	2.5時間	1人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
23	2月28日	2.5時間	1人	ベトナム国ベトナム語 5 ブラジル国ポルトガル語 1	教授者 1名	日本語指導 教科書・ドリル
24	10月2日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語 1	教授者 1名	作文指導 時事問題
25	10月9日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語 1	教授者 1名	作文指導 時事問題

26	10月16日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
27	10月23日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
28	10月30日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
29	11月6日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
30	11月13日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
31	11月20日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
32	11月27日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
33	12月4日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
34	12月11日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
35	12月18日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
36	12月25日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
37	1月8日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
38	1月22日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
39	1月29日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
40	2月5日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
41	2月12日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
42	2月19日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題
43	2月26日	2時間	1人	ベトナム国ベトナム語1	教授者1名	作文指導 時事問題

特徴的な授業風景（2～3回分）

（特徴が最もよく表れた日の授業報告を詳細に記載。）

- ・ 日本文化の紹介で、正月、節分のことを教えた。

⑧ 活用した日系人等（日本語を母語としない）の名簿

氏名	母語（国籍）	来日年（日）数	参加回数	当該教室での役割
〇〇〇〇	〇〇語（〇〇国）	〇〇年	〇〇回	授業補助、通訳

⑨ 支援者の名簿（⑨以外）

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
〇〇〇〇	〇〇協会主宰	日本語教育能力検定試験合格	〇〇回	アドバイザー
浅井 清子	泉の会		30	指導者
杉野 竜美	泉の会		5	指導者
松田 京子	泉の会		0	指導者
千星 純子	泉の会		10	指導者

3. 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

教室の開催日数が予定より少なくなり、十分ではないが概ね達成できている。
下校時間が早くなり、十分な学習時間がとれなかった。

② 学習者の習得状況

1年生は明瞭な音読ができるようになり、2年生は九九もできるようになった。

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

加配教諭の出張が多く、職員会議等で指導時間が少なくなったが、範囲内で一定の成果は上がっている。

- ④ 地域の関係者との連携による効果，成果 等
なし

- ⑤ 改善点，今後の課題について（具体的に記述する。）

a. 現状

学校行事や加配教諭の急な出張で、ユイ教室を開催できないことが多々あり、予定が立たないことがよくある。

b. 今後の課題

限られた教室開催時間を、いかに有効に活用できるかが今後の課題である。

c. 今後の活動予定，展望

新1年生が3名入学予定なので、日本の学校生活に馴染めるよう、またユイ教室の子供たちとの交流が円滑にできるよう指導に当たりたい。

- ⑥ その他参考資料 （教室風景の写真を数枚添付。）

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。



2. 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

フリンセサ 日本語教室

② 開催場所

光ヶ丘小学校 生涯学習ルーム

③ 学習目標

定住難民家族を中心に、外国籍の子供から大人まで
日本語力、学習力の向上等に、指導する。

④ 使用した教材・リソース

学校で使用しているドリル、教科書、
漢字マスター 3級、4級、
日本語能力試験問題と正解。

⑤ 受講者の募集方法

(※どこでどのような媒体を使って募集したかを記載。なお、募集のチラシ等があれば添付すること。)

相模原国際交流ラウンジを通じて。

⑥ 講者の総数

12

人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦ 開催時間数 (回数)

43.5 時間

(全 18 回)

日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語 (人)	教授者・補助者人数	内容
1	○月○日 0:00~0:00	○時間	○人	○○国・○○語 (○人) △△国・△△語 (△人)	教授者○人 補助者○人	○○○○学習 ○○教材使用
2						
3						
4						
5						

⑧ 特徴的な授業風景（2～3回分）

（特徴が最もよく表れた日の授業報告を詳細に記載。）

⑨ 活用した日系人等（日本語を母語としない）の名簿

氏名	母語（国籍）	来日年（日）数	参加回数	当該教室での役割
〇〇〇〇	〇〇語（〇〇国）	〇〇年	〇〇回	授業補助，通訳

⑩ 支援者の名簿（⑨以外）

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
〇〇〇〇	〇〇協会主宰	日本語教育能力検定試験合格	〇〇回	アドバイザー

3. 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

小中学生は、本人が課題を持って集まって来て、おおむね当日に、終了している。日本語学習者も、学習意欲が高く、毎回、予習復習をしている。

② 学習者の習得状況

学習者それぞれが、目標に向かって、頑張っている。今年度の日本語能力試験へ向かって、(2級・3級)学習中。小中学生は、補習が中心であるが、確実に、高上していると思われる。

③ 日本語教室設置運営の効果，成果

学習はもちろん、同国の人々に会えて、共に良い刺激になっている。
学習者

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

ラウンジを通して、今年度1名が新たに参加してくれている。
これからこの関係を続けてゆきたい。

⑤ 改善点、今後の課題について（具体的に記述する。）

a. 現状

今の教室に通って来る人は、意欲もあるが、問題はなにか、どうしてない人達（子供）が学校の学習に追いついていけるかが心配である。

b. 今後の課題

この地域に、定住難がまた決まらないうちに、本当に日本語力、学習力が必要な方達をいかにしたら、教室に来てもらう事が出来るか。

c. 今後の活動予定、展望

この地域を歩き、^{（家族）} 各家庭の事を知らない人達がいろいろ知らせ、共に学習することをお勧めする。

⑥ その他参考資料 （教室風景の写真を数枚添付。）

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。

2. 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

フニルニセサ 日本語教室.

② 開催場所

光ヶ丘小学校 生涯学習ルーム.

③ 学習目標

定住難民家族を中心に、外国籍の子供から大人まで
日本語力、学習力の向上の為に指導する。

④ 使用した教材・リソース

学校で使用しているドリル、教科書。
漢字マスター 2級、3級。
日本語能力試験内題と正解、日本語で話そうⅠ、

⑤ 受講者の募集方法

(※どこでどのような媒体を使って募集したかを記載。なお、募集のチラシ等があれば添付すること。)

相模原国際交流ウヤンジを通して。

⑥ 講者の総数 12 人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦ 開催時間数 (回数) 40 時間 (全 18 回)

日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語 (人)	教授者・補助者人数	内容
1	○月○日 0:00~0:00	○時間	○人	○○国・○○語 (○人) △△国・△△語 (△人)	教授者○人 補助者○人	○○○○学習 ○○教材使用
2						
3						
4						
5						

⑧ 特徴的な授業風景（2～3回分）

（特徴が最もよく表れた日の授業報告を詳細に記載。）

⑨ 活用した日系人等（日本語を母語としない）の名簿

氏名	母語（国籍）	来日年（日）数	参加回数	当該教室での役割
〇〇〇〇	〇〇語（〇〇国）	〇〇年	〇〇回	授業補助，通訳

⑩ 支援者の名簿（⑨以外）

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
〇〇〇〇	〇〇協会主宰	日本語教育能力検定試験合格	〇〇回	アドバイザー

3. 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

小・中学生は、本人が課題を持って来たり、おおむね当日に終了している。

日本語学習者は、会話力が以前より上達している。

② 学習者の習得状況

学習者はそれぞれ目標に向けて頑張っている。

今年始めて、日本語能力試験を受験して、N4に合格した。

③ 日本語教室設置運営の効果，成果

学習だけでなく、同国人の交流の場になっている。

子供と大人の学習が同じ場所なので、教室外での、子供の様子にも目くはせができる。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

相模国際交流ラウンジ主催の「日本語ボランティア養成講座」の受講者から、ボランティアとして 12月より参加してくれた。

⑤ 改善点、今後の課題について（具体的に記述する。）

a. 現状

現在教室に通って来ている人は、意欲もあり内題はないが、
いまだに人達（生徒）が学校の学習についていっているかが心配である。

b. 今後の課題

この地域に定住難民家族が増えるが、日本語の学習能力を
必要としている人達に、教室の存在をいかに知ってもらえるか。

c. 今後の活動予定、展望

外国籍の子供で日本力、学習能力を必要としている生徒に
参加を呼びかけよう様に学校に働きかける。

⑥ その他参考資料（教室風景の写真を数枚添付。）

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。

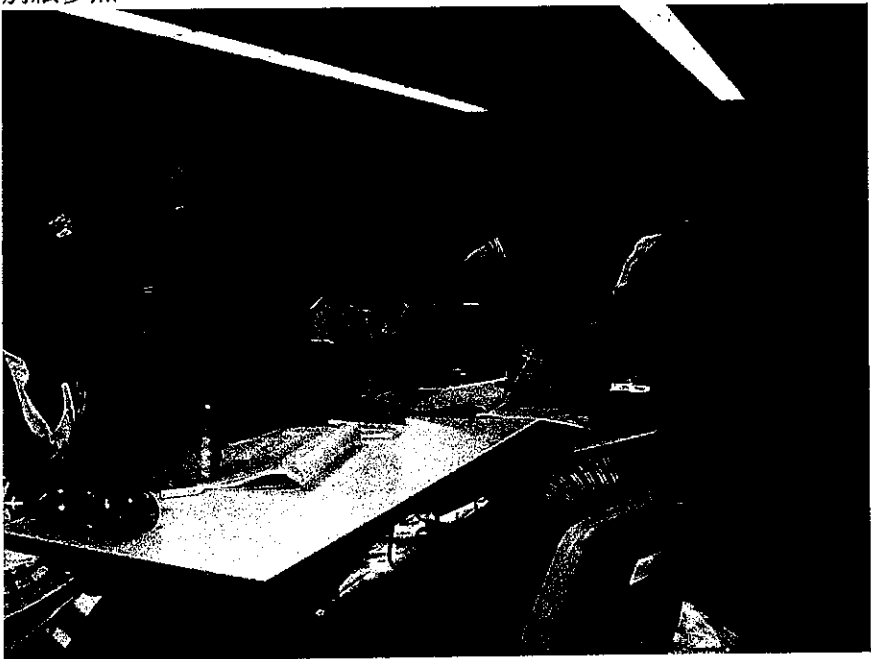


(2) 日本語教育指導形式及び内容について

※ 該当する□に✓を入れ、()に記入してください。

ア. 実施日時	☐ 定期 実施回数 1カ月平均 () 回、1回あたり () 時間 活動のない時期とその理由 () ☒ 不定期 (理由: 飯田北小学校の年間計画に従っているため)
イ. 指導形式	☒ 教室授業 (クラス編成: 飯田北小学校の国際教室への入り込み、本級における個別支援、ジャボラ主催夏休み勉強会) ☐ 個別訪問指導 (件数:) ☐ その他 ()
ウ. 指導場所と回数	☒ 施設等 施設名 (上飯田地区センター 所在地 横浜市泉区上飯田町3913-1) (4) 回 施設名 (所在地) () 回 施設名 (所在地) () 回 施設名 (所在地) () 回 ☐ 学習者の自宅 () 回 ☐ 学習者の勤務先 () 回 ☒ 学習者の学校 (40) 回 ☐ 指導者の自宅 () 回
エ. 指導内容	☐ 日本語 (入門 ・ 初級 ・ 中級 ・ 上級) ☒ 教科書指導 (科目: 国語、算数) ☐ その他 ()
オ. 使用教材、リソース	☒ 学生用教材 (小学校教科書、ドリルなどの学校教材、夏休み勉強会用独自プリント) ☐ 社会人用教材 () ☐ 指導者用教材・参考図書 ()

(3) 活動状況について

ア. 受講者の募集方法	※ 広報媒体、広報対象や回数を記載し、募集チラシがあれば添付してください。 飯田北小学校が実施する
イ. 受講者からの費用徴収	☒ していない ☐ している (円 / 月・回) ☐ その他 ()
ウ. 地方公共団体・公益法人・民間支援団体等との連携	☐ 実施しなかった ☒ 実施した (団体名: 横浜市立飯田北小学校・泉区社会福祉協議会 横浜国立大学) ☐ 講座の共催 ☒ 公共施設の利用 ☒ 受講者募集 ☒ その他 (地域向け講座の後援、情報提供、実習生の受け入れ)
エ. 地方公共団体・公益法人・民間支援団体等からの援助	☐ 受けなかった ☒ 受けた (団体名: 泉区社会福祉協議会、神奈川生協) ☒ 指導場所の無償提供 ☒ 活動費 (援助額: 泉区社会福祉協議会¥230,000、神奈川生協¥30,000) ☒ 教材等 ☒ 活動広報 ☐ その他 ()
オ. 特徴的な授業風景 ○ 特徴が最もよく表れた日の授業の詳細を1回分、記載してください。 ○ 教室風景の写真を1枚、添付してください。 ※ 写真は肖像権および個人情報に配慮し、差し支えないものを添付してください。 必要に応じ適宜、学習者および指導者に撮影の了承を得てください。	別紙参照 

2. 活動の達成度

(1) 活動の達成度を自己評価してください。

ア. 年度当初の学習目標の達成状況 年度当初に提出された活動実施計画書P3.「活動目標」に照らし合わせてください。	a. 年度当初の活動目標 ①指導者の研修 ②夏休み勉強会における児童のテキストの充実を図る ③指導者の増員 ④新入学児童の保護者に対する日本語支援の充実(翻訳も含む) b. その目標を ✓達成できた ② □まあまあ達成できた ✓達成できなかった ③ c. その理由: ②夏休み勉強会のテキストについては、小学校や横浜国大の意見も取り入れ、年々使いやすいものになるよう改善を重ねている。 ③会員募集について広報などを用い呼びかけを行ったが、日本語サークルが地域に多くできていることもあり、会員の増員を図ることができなかった。下期も続けて会員確保に向けての努力をしていきたい。 ①④については下期で実施予定
イ. 学習者の習得状況	家庭内での言葉と学校、友人と使う言葉が異なるため母国語、日本語とともに生活言語レベルしか理解できない児童が増えてきている。また、親の経済状態、教育への関心度がそのまま、子どもの学力に反映しており、学力の格差が広がっている。
イ. 地域関係者との連携効果	泉区社会福祉協議会との連携を通し、地域の情報などを得ている。
エ. 今後の改善点・課題	a. 現状と課題 数の概念、文字への関心など家庭教育の不足している子どもが目立ってきている。また、親の格差がそのまま、子どもたちの学力の格差に反映している。今後も飯田北小学校と連携し、少しでも子どもたちの支援に取り組んでいきたい。 b. 今後の展望や取り組みの予定 ①新会員の確保 ②会員のレベルアップを図るための研修の実施。

以上

(2) 日本語教育指導形式及び内容について

※ 該当する□に✓を入れ、()に記入してください。

ア. 実施日時	☐ 定期 実施回数 1カ月平均 () 回、1回あたり () 時間 活動のない時期とその理由 () ☒ 不定期 (理由: 飯田北小学校の年間計画に従っているため)
イ. 指導形式	☒ 教室授業 (クラス編成: 飯田北書小学校の国際教室への入り込み、本級における個別支援) ☐ 個別訪問指導 (件数:) ☐ その他 ()
ウ. 指導場所と回数	☐ 施設等 施設名 () 所在地 () () 回 施設名 () 所在地 () () 回 施設名 () 所在地 () () 回 施設名 () 所在地 () () 回 ☐ 学習者の自宅 () 回 ☐ 学習者の勤務先 () 回 ☐ 学習者の学校 (51) 回 ☐ 指導者の自宅 () 回
エ. 指導内容	☐ 日本語 (入門 ・ 初級 ・ 中級 ・ 上級) ☒ 教科書指導 (科目: 国語、算数) ☐ その他 ()
オ. 使用教材、リソース	☒ 学生用教材 (小学校教科書、ドリルなどの学校教材) ☐ 社会人用教材 () ☐ 指導者用教材・参考図書 ()

(3) 活動状況について

ア. 受講者の募集方法	※ 広報媒体、広報対象や回数を記載し、募集チラシがあれば添付してください。 飯田北小学校が実施する
イ. 受講者からの費用徴収	✓していない ☐ している（円／月・回） ☐ その他（ ）
ウ. 地方公共団体・公益法人・民間支援団体等との連携	☐ 実施しなかった ✓実施した（団体名：横浜市立飯田北小学校・泉区社会福祉協議会） ☐ 講座の共催 ✓公共施設の利用 ✓受講者募集 ✓その他（地域向け講座の後援、情報提供）
エ. 地方公共団体・公益法人・民間支援団体等からの援助	☐ 受けなかった ✓受けた（団体名： 泉区社会福祉協議会 、神奈川県協 ） ✓指導場所の無償提供 ✓活動費（援助額：泉区社会福祉協議会¥230,000、神奈川県協¥30,000） ✓教材等 ✓活動広報 ☐ その他（ ）
オ. 特徴的な授業風景	別紙参照 (資料1～3)

2. 活動の達成度

(1) 活動の達成度を自己評価してください。

ア. 年度当初の学習目標の達成状況 年度当初に提出された活動実施計画書P3.「活動目標」に照らし合わせてください。	a. 年度当初の活動目標 ①指導者の研修 ②夏休み勉強会における児童のテキストの充実を図る ③指導者の増員 ④新入学児童の保護者に対する日本語支援の充実(翻訳も含む) b. その目標を ✓達成できた ①、② □まあまあ達成できた ✓達成できなかった ③、④ c. その理由: ①毎月のミーティングで情報共有化と必要な知識の取得を図っている。また、「コミュニケーションのツボ」(10月20日、石田智子氏)救急救命講座(12月15日、泉区消防署)、「外国につながる子ども達の育ちと居場所～今私たちにできること～」(2月16日、多文化まちづくり工房代表 早川秀樹氏)と3回の講座を実施することができた。 ②夏休み勉強会のテキストについては、小学校や横浜国大の意見も取り入れ、年々使いやすいものになるよう改善を重ねている。 ③講座や会員募集について広報などを用い呼びかけを行ったが、指導者の増員については日本語サークルが地域に多くできていることもあり、結果を出すことができなかった。また、今年度は転勤や介護などの理由で退会する会員もあった。今後も呼びかけを行っていきたい。 ④保護者向けの支援については、今年度の新入生は保育園経験があり日本語が理解できる保護者、2人目で小学校経験がある保護者しかいなかったので必要性がなかった。今後、日本語が理解できず日本での子育て経験もない保護者が入学した場合には支援していきたい。
イ. 学習者の習得状況	家庭内での言葉と学校、友人と使う言葉が異なるため母国語、日本語ともに生活言語レベルしか理解できない児童が増えてきている。また、日本人を含む全児童の学力低下が目立ち、特に算数における数や量の概念など、生活や経験から得る知識が育っていない児童が多い。親の雇用状況の悪化が家庭の乱れにつながり、精神的に不安定な児童が増加していることも最近の傾向といえる。
イ. 地域関係者との連携効果	泉区社会福祉協議会との連携を通し、地域の情報などを得ている。

エ. 今後の 改善点・ 課題	a. 現状と課題 親を取り巻く環境がそのまま、子ども達の精神的不安定、モチベーションの低下、学力低下につながっているのが難しい点もあるが、子ども達のために何が必要かを基本に、飯田北小学校とのより良い連携を図っていきたい。 b. 今後の展望や取り組みの予定 ①飯田北小学校の国際教室入り込み、夏休み勉強会などの活動の地道な積み上げ ②新会員の確保 ③精神的なケアについてなどの会員向け研修の実施
-------------------------------	--

以上

2010 年度ジャボラ活動報告

1. ミーティング

★定例： 毎月第三水曜日

泉区社会福祉協議会

ふれあいホームにて

★飯田北小学校とのミーティング

8月26日、3月23日（予定）



飯田北小学校校庭のいちろうの木

2. 飯田北小国際級授業への入り込み

学校行事等で国際級授業が行われない日を除き、原則として、月曜日から金曜日まで、3校時と4校時（10時半～12時15分）を飯田北小学校国際級に入り込み、先生の指示に従い、授業の手伝い、本読み、書き方、作文、丸付け、等の日本語指導、学習指導を中心に生活指導まで多岐にわたっています。最近では飯田北小学校における外国に繋がる日本生まれの児童を含む、外国籍の児童の割合が4割を超えるようになり、その事により、家庭内での言葉と学校、友人と使う言葉が異なるため母国語、日本語ともに生活言語レベルしか理解できない児童が増えてきています。このため、低学年への本級入り込みも多くなってきました。

ジャボラ会員間の活動情報共有のためには活動記録を作成しメールで配信しています。

（別添1）

活動日数及びボランティア参加延べ人数

2010年 106日 児童 のべ1800名 ジャボラのべ166名

3. 給食指導

4月には、国際級への入り込みに加え、新1年生に対する給食指導も行っています。子供たちが初めて体験する給食当番への付き添いや補助、給食当番が帰ってくるの

を待っている間の当番でない子どもたちへの本の読み聞かせなどを行っています。落ち着きのない児童が増えてきているため、児童が興味を持ちそうな様々な読み聞かせを行っています。

4. 夏休み勉強会 (2010)

飯田北小国際級の児童は家庭での日本語使用頻度が低いため、夏休み中に日本語能力が低下しがちで、2学期の授業がなかなかスムーズにいかないという現実があります。また、夏休みの宿題という概念がないため夏休み中勉強をするという事はありません。このため学力も学年始めの段階まで戻ってしまうという児童も数多くいます。これを少しでも解消するため、今年も夏休みに勉強会を開催しました。ジャボラが用意した児童一人ずつの勉強ファイルを4日間毎日勉強したり、宿題を完成させたりしました。子ども達は、勉強会の最終日に行われる「がんばりました」の表彰式とカレーパーティーを楽しみに頑張って勉強していました。学校側からも2学期の授業がスムーズにスタートできましたとの評価を得ました。

(夏休み勉強会ための独自教材を毎年作成しています。)

夏休み活動記録等 別添2

実施日 8月23日,24日,25日26日 午前10時から12時まで
場所 上飯田地区センター
参加児童 飯田北小学校国際級児童(1年から6年)及び卒業生(中学生)
参加人数

日	児童数	中学生	ボランティア数	横浜国大生
23	30	2	8	13
24	35	1	8	13
25	36	1	7	12
26	40	2	10	14



5. 講習会 (研修)

ジャボラで必要な事や、知りたいと思う事について研修会を開いています。今年度は①毎年難しくなってくる児童とのコミュニケーションのはかり方、②小学校に設置されている AED を使用方法、③飯田北小学校を卒業した児童の中学、高校生活の実態についての講習会を開催しました。

- ① 知恵と技で人間関係を作る話し方を作るための「コミュニケーションのツボ」
10月20日 石田智子氏
- ② 救急救命講座
12月15日 泉区消防署
- ③ 外国につながる子ども達の育ちと居場所～今私たちにできること～
2月16日 早川秀樹氏(多文化まちづくり工房代表)
* 早川氏は神奈川県で初めて地球市民賞を受賞
* アジア財団後援名義使用



救急救命講座



外国につながる子ども達 講習会

6. 飯田北小学校との交流、

今年度も運動会、学習発表会、世界の料理、卒業式等の子供たちが輝くことができる行事に行き、国際級の子供たちだけでなく本級の子供たちも褒める事により飯田北小学校全体の児童たちと交流をふかめるよう心がけました。

7. 外部会議等への出席

※ふれあい助成金説明会

3月15日(火)

泉ふれあいホーム

※泉区福祉保健活動拠点利用団体懇談会

3月11日(水)

泉ふれあいホーム

※泉区社会福祉協議会の「赤い羽根街頭募金」

10月6日(水)

相鉄弥生台駅

今年度は横浜市社会福祉協議会より感謝状を受賞しました。

※日本定住難民との集い

主催：アジア福祉教育財団難民事業本部

10月24日

新宿文化センター

※コープケーション

活動発表

2月5日～7日

テアトルフォンテ

以上本日までの活動報告です。

別添1 2月22日活動報告

別添2 夏休み勉強会反省会記録

2. 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

ミンガラ日本語教室 (上野区)

② 開催場所

千代田区民館 (和泉橋区民館他)

③ 学習目標

日常生活に必要な日本語の習得

日本語能力試験受験

④ 使用した教材・リソース

社会人用教材

- ・「はじめてのにほんご」ひらがなカタカナ (自主制作)
- ・「みんなの日本語初級Ⅰ」より・4級漢字練習帳 (自主制作)
- ・「みんなの日本語初級Ⅱ」より・3級漢字練習帳 (自主制作)
- ・「みんなの日本語中級Ⅰ」より
- ・「中級から学ぶ日本語」より
- ・「上級で学ぶ日本語」より

⑤ 受講者の募集方法

(※どこでどのような媒体を使って募集したかを記載。なお、募集のチラシ等があれば添付すること。)

受講者の口コミ中心。4月の水かけ祭りでのチラシ配布。

⑥ 受講者の総数 160人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦ 開催時間数 (回数) 157.5時間 (全 21回)

日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語 (人)	教授者・ 補助者人数	内容
1	5月2日 9:30~17:00	7.5 時間	77人	ミャンマー (77人)	5人	日本語入門・初級・ 中級・上級
2	5月9日 9:30~17:00	7.5 時間	76人	ミャンマー (76人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
3	5月16日 9:30~17:00	7.5 時間	82人	ミャンマー (82人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級

4	5月23日 9:30~17:00	7.5 時間	82人	ミャンマー (82人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
5	5月30日 9:30~17:00	7.5 時間	56人	ミャンマー (56人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
6	6月13日 9:30~17:00	7.5 時間	69人	ミャンマー (69人)	5人	日本語入門・初級・ 中級・上級
7	6月20日 9:30~17:00	7.5 時間	70人	ミャンマー (70人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
8	6月27日 9:30~17:00	7.5 時間	90人	ミャンマー (90人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
9	7月4日 9:30~17:00	7.5 時間	40人	ミャンマー (40人)	5人	日本語入門・初級・ 中級・上級
10	7月11日 9:30~17:00	7.5 時間	103人	ミャンマー (103人)	5人	日本語入門・初級・ 中級・上級
11	7月18日 9:30~17:00	7.5 時間	71人	ミャンマー (71人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
12	7月25日 9:30~17:00	7.5 時間	70人	ミャンマー (70人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
13	8月1日 9:30~17:00	7.5 時間	49人	ミャンマー (49人)	5人	日本語入門・初級・ 中級・上級
14	8月8日 9:30~17:00	7.5 時間	73人	ミャンマー (73人)	5人	日本語入門・初級・ 中級・上級
15	8月15日 9:30~17:00	7.5 時間	57人	ミャンマー (57人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
16	8月22日 9:30~17:00	7.5 時間	79人	ミャンマー (49人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
17	8月29日 9:30~17:00	7.5 時間	71人	ミャンマー (49人)	5人	日本語入門・初級・ 中級・上級
	9月5日 9:30~17:00	7.5 時間	79人	ミャンマー (79人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
	9月12日 9:30~17:00	7.5 時間	78人	ミャンマー (78人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
	9月19日 9:30~17:00	7.5 時間	59人	ミャンマー (59人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
	9月26日 9:30~17:00	7.5 時間	60人	ミャンマー (60人)	5人	日本語入門・初級・ 中級・上級

⑧ 特徴的な授業風景（2～3回分）

（特徴が最もよく表れた日の授業報告を詳細に記載。）

（1）

期日：5月2日

場所：千代田区和泉橋区民館 5階洋室D, E

時間：9時半～17時

5階洋室E

9時半～10時50分 「あいうえお」クラス

講師 中田 10名参加（内新人3名）

練習帳 ひらがな「な行」～「ば行」

11時～12時20分 4級(1)クラス

講師 青柳 9名参加（「あ」から引き続き3名）

みんなの日本語初級Ⅰ第10課 「います・あります」漢字「火 水」

12時半～13時50分 4級(2)クラス

講師 青柳 11名参加(4(1)から引き続き4名)

みんなの日本語初級Ⅰ第21課 「と思います」漢字「立 電車」

14時～16時50分 3級クラス

講師 鈴木 21名参加(4(2)から引き続き3名、2級から引き続き4名)

みんなの日本語初級Ⅱ第33課 「命令形・禁止形」

漢字（近 寒 暑 強 弱）

5階洋室D

11時～13時50分 2級クラス

講師 鈴木 18名参加

みんなの日本語第6課（1回目）

14時～16時50分 1級クラス

講師 神谷 8名参加（2級から引き続き4名）

上級で学ぶ日本語第6課（1回目）

（2）

期日：7月11日

場所：千代田区和泉橋区民館 5階洋室D, E

時間：9時半～17時

5階洋室E

9時半～10時50分 「あいうえお」クラス

講師 ニーニーソー 16名参加（内新人1名）

練習帳 カタカナ「マ行」～「ン行」

11時～12時20分 4級(1)クラス

講師 佐藤 25名参加（「あ」から引き続き7名）

みんなの日本語初級Ⅰ第1課 自己紹介など

12時半～13時50分 4級(2)クラス

講師 佐藤 20名参加(4(1)から引き続き14名)

みんなの日本語初級Ⅰ第14課 て形の導入 漢字2文字

14時～16時50分 3級クラス

講師 原 18名参加(4(2)から引き続き4名、新人3名)

みんなの日本語初級Ⅱ第37課 「受身形」

漢字（乗、進、終、習、切）

5階洋室D

10時～11時50分 2級(1)クラス

講師 飯沼 16名参加

みんなの日本語第8課(2回目)
12時～13時50分 2級(2)クラス
講師 飯沼 18名参加(2級(1)から引き続き15名)
中級から学ぶ日本語第13課(1回目)
14時～16時50分 1級クラス
講師 渡邊 5名参加(全員女性 2級(2)から引き続き2名)
上級で学ぶ日本語第9課(1回目)

⑨ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿
なし

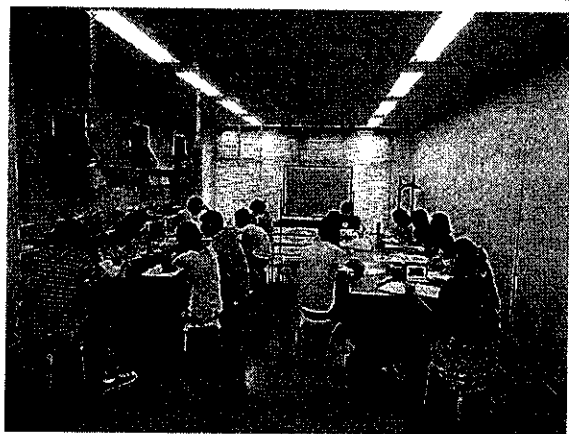
⑩ 支援者の名簿(⑨以外)
なし

3. 事業に対する評価について

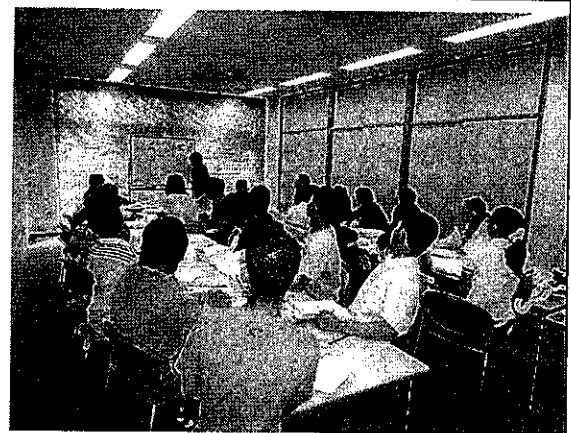
- ① 当初の学習目標の達成状況
各クラスの進行は年間予定に従い順調に進行中。
- ② 学習者の習得状況
新しい能力試験合格者 N1、N2各1名、N33名
- ③ 日本語教室設置運営の効果、成果
学習者の定着状況は昨年より改善した。
能力試験改訂に伴うクラス増など体制整備を行った。
- ④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等
特記事項なし。
- ⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)
 - a. 現状
学習者の定着状況は昨年より改善したが、まだ十分とは言えない。
能力試験改訂に伴い、2級クラスを増設したが、指導者・授業時間が十分取れていない。
 - b. 今後の課題
連絡を密にし、フォローを十分に行う。
開始時間を早くするなど時間割の再検討を行う。また講師の補充に努める。
 - c. 今後の活動予定、展望
年間計画に従い進めて行く。

⑥その他参考資料 (教室風景の写真を数枚添付。)

※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えないものを添付すること。



2級(2)クラスの授業風景



4級クラスの授業風景



湯河原・箱根バス旅行(6月)

2. 日本語教室の開催について

① 日本語教室の名称

ミンガラ日本語教室 (下期)

② 開催場所

千代田区民館 (和泉橋区民館他)

③ 学習目標

日常生活に必要な日本語の習得

日本の生活・習慣を学ぶ

日本語能力試験受験

④ 使用した教材・リソース

社会人用教材

- ・「はじめてのにほんご」 ひらがなカタカナ (自主制作)
- ・「みんなの日本語初級Ⅰ」 より・4級漢字練習帳 (自主制作)
- ・「みんなの日本語初級Ⅱ」 より・3級漢字練習帳 (自主制作)
- ・「みんなの日本語中級Ⅰ」 より
- ・「中級から学ぶ日本語」 より
- ・「上級で学ぶ日本語」 より

⑤ 受講者の募集方法

(※どこでどのような媒体を使って募集したかを記載。なお、募集のチラシ等があれば添付すること。)

受講者の口コミ中心。

⑥ 受講者の総数 120人 (延べ人数ではなく、受講した人数を記載すること。)

⑦ 開催時間数(回数) 142.5時間 (全 19回)

日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語 (人)	教授者・ 補助者人数	内容
1	10月3日 9:30~17:00	7.5 時間	91人	ミャンマー (91人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
2	10月10日 9:30~17:00	7.5 時間	81人	ミャンマー (81人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
3	10月24日 9:30~17:00	7.5 時間	67人	ミャンマー (67人)	5人	日本語入門・初級・ 中級・上級

4	10月31日 9:30~17:00	7.5 時間	60人	ミャンマー (60人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
5	11月7日 9:30~17:00	7.5 時間	54人	ミャンマー (56人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
6	11月14日 9:30~17:00	7.5 時間	65人	ミャンマー (69人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
7	11月21日 9:30~17:00	7.5 時間	39人	ミャンマー (70人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
8	11月28日 9:30~17:00	7.5 時間	62人	ミャンマー (90人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
9	12月5日 9:30~17:00	7.5 時間	35人	ミャンマー (40人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
10	12月12日 9:30~17:00	7.5 時間	41人	ミャンマー (103人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
11	12月19日 9:30~17:00	7.5 時間	28人	ミャンマー (71人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
12	1月9日 9:30~17:00	7.5 時間	60人	ミャンマー (70人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
13	1月16日 9:30~17:00	7.5 時間	66人	ミャンマー (49人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
14	1月23日 9:30~17:00	7.5 時間	62人	ミャンマー (73人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
15	1月30日 9:30~17:00	7.5 時間	63人	ミャンマー (57人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
16	2月6日 9:30~17:00	7.5 時間	54人	ミャンマー (49人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
17	2月13日 9:30~17:00	7.5 時間	44人	ミャンマー (49人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
18	2月20日 9:30~17:00	7.5 時間	52人	ミャンマー (79人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級
19	2月27日 9:30~17:00	7.5 時間	35人	ミャンマー (78人)	6人	日本語入門・初級・ 中級・上級

⑧ 特徴的な授業風景（2～3回分）

（特徴が最もよく表れた日の授業報告を詳細に記載。）

（1）

期日：10月3日

場所：千代田区和泉橋区民館 5階洋室D, E

時間：9時半～17時

5階洋室D

9時半～10時50分 「あいうえお」クラス

講師 アウンコーラッ 8名参加（内新人3名）

練習帳 カタカナ「ナ行」～「バ行」

11時～12時20分 4級(1)クラス

講師 佐藤 21名参加（「あ」から引き続き3名）

みんなの日本語初級Ⅰ第8課 「い形容詞」、漢字2文字

12時半～13時50分 4級(2)クラス

講師 佐藤 24名参加（4級(1)から引き続き18名）

みんなの日本語初級Ⅰ第20課 「普通形」漢字3文字

14時～16時50分 3級クラス

講師 原 18名参加（4級(2)から引き続き2名、2級から引き続き2名）

みんなの日本語初級Ⅱ第46課 「～そうです」

漢字5文字

5階洋室E

10時～11時50分 2級(1)クラス

講師 飯沼 7名参加

みんなの日本語第11課（1回目）

12時～13時50分 2級(2)クラス

講師 長門 14名参加（2級(1)から引き続き6名）

中級から学ぶ日本語第18課（2回目）

14時～16時50分 1級クラス

講師 渡邊 6参加（2級から引き続き2名）

上級で学ぶ日本語第13課（1回目）

（2）

期日：2月20日

場所：千代田区和泉橋区民館 5階洋室D, E

時間：9時半～17時

5階洋室D

9時半～10時50分 「あいうえお」クラス

講師 喜多村 5名参加（内新人1名）

練習帳 ひらがな 拗音

11時～12時20分 4級(1)クラス

講師 森澤 8名参加（「あ」から引き続き4名）

みんなの日本語初級Ⅰ第5課 「行きます・来ます」 漢字2文字

12時半～13時50分 4級(2)クラス

講師 森澤 17名参加（4級(1)から引き続き8名）

みんなの日本語初級Ⅰ第17課 許可・禁止 漢字3文字

14時～16時50分 3級クラス

講師 青柳 12名参加（4級(2)から引き続き2名、2級(2)から引き続き3名）

みんなの日本語初級Ⅱ第29課 「～ています：状態」 漢字5文字

5 階洋室E

10時～11時50分 2級(1)クラス

講師 守屋 5名参加

みんなの日本語第2課(3回目)

12時～13時50分 2級(2)クラス

講師 川崎 10名参加(2級(1)から引き続き5名)

中級から学ぶ日本語第11課(1回目)

14時～16時50分 1級クラス

講師 神谷 8名参加(2級(2)から引き続き5名)

上級で学ぶ日本語第3課(1回目)

午後それぞれ30分～1時間

講師 中尾、ニーニーソー 小中学生3名の学科指導

小2(算数・国語)、小6(国語)、中2(数学)

⑨ 活用した日系人等(日本語を母語としない)の名簿

なし

⑩ 支援者の名簿(⑨以外)

なし

3. 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

各クラスの進行は年間予定に従い順調に進行中。

② 学習者の習得状況

新しい能力試験合格者

N1 2名、N2 2名、N3 1名、N4 5名、N5 4名

③ 日本語教室設置運営の効果、成果

学習者の定着状況は昨年より改善した。

能力試験改訂に伴うクラス増など体制変更が定着した。

④ 地域の関係者との連携による効果、成果 等

特記事項なし。

⑤ 改善点、今後の課題について(具体的に記述する。)

a. 現状

学習者の定着状況は昨年より改善したが、まだ十分とは言えない。

b. 今後の課題

連絡を密にし、フォローを十分に行う。

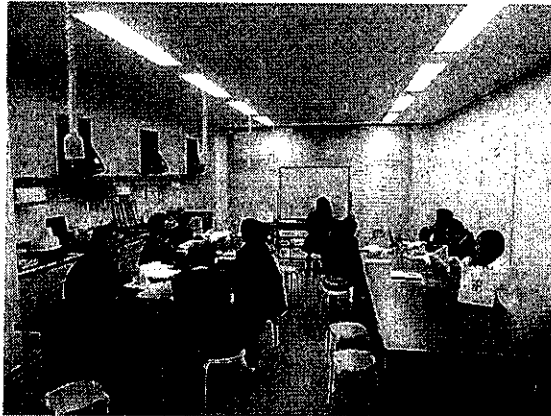
開始時間を早くするなど時間割の再検討を行う。

c. 今後の活動予定，展望

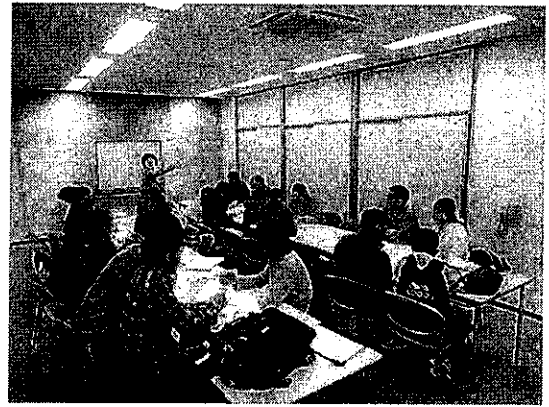
年間計画に従い進めて行く。

⑥その他参考資料 （教室風景の写真を数枚添付。）

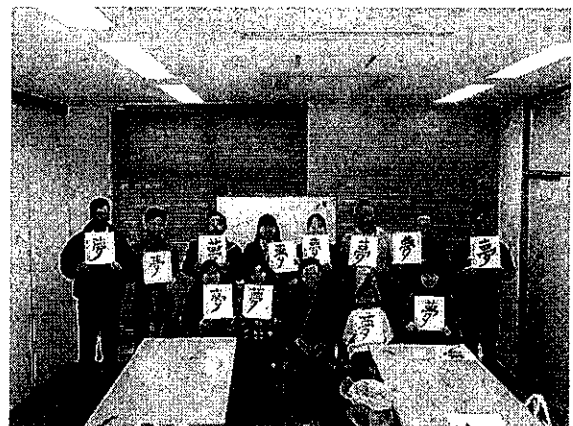
※写真は、肖像権等に配慮し、差し支えのないものを添付すること。



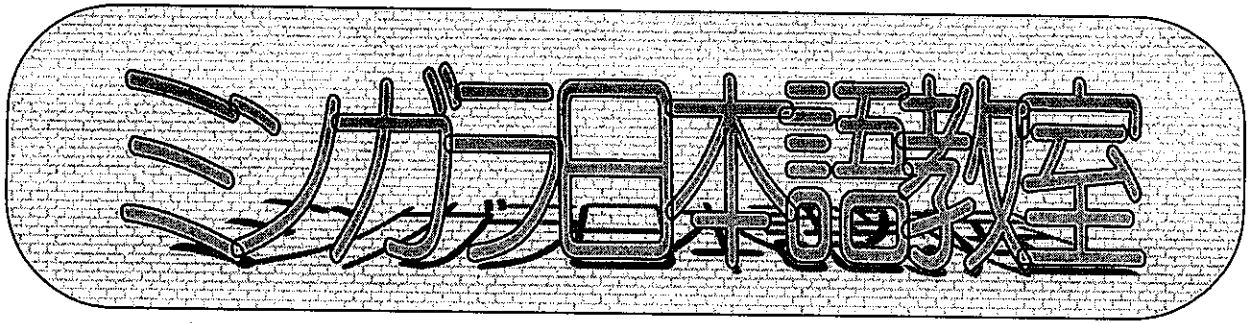
2級（2）クラスの授業風景



4級クラスの授業風景



書道講座(12月)



မင်္ဂလာဂျပန်စာသင်ခန်း

အထူးမိတ်ဆက်ပေးစရာမလို။ ဂျပန်ရောက်မြန်မာလူမျိုးတို့အကြား လူသိများလှတဲ့
မင်္ဂလာဂျပန်ဘာသာစာသင်တန်းမှ အဆင့်အလိုက်သင်တန်းများကို
အပတ်စဉ် တနင်္ဂနွေနေ့တိုင်း ဖွင့်လှစ်သင်ကြားပေးနေပါသည်။
သင်တန်းကြေး တလ ယန်း၁၅၀၀တည်းသာ။

အခြေခံအဆင့်	9:30~10:50	Hiragana/Katakana
၄(၁) အဆင့်	11:00~12:20	Minna no Nihongo L1~L13
၄(၂) အဆင့်:(N5)	12:30~1:50	Minna no Nihongo L14~L25
၃ အဆင့်:(N4)	2:00~4:50	Minna no Nihongo L26~L50
၂(၁) အဆင့်:(N3)	10:00~11:50	Minna no Nihongo Chyukyu I
၂(၂) အဆင့်:(N2)	12:00~1:50	Chyukyu kara Manabu Nihongo
၁ အဆင့်:(N1)	2:00~4:50	Jokyu de Manabu Nihongo

စေတနာ့ဝန်ထမ်း ဆရာ၊ ဆရာမများရဲ့ အပြိုးပန်းများအောက်မှာ သင်တို့ရဲ့ဘာသာစကား
အခက်အခဲများကို ပြေရှင်းကြပါစို့။ အာဒိဟာ
ဘရဘူတာမှ သုံးမိနစ်ခန့်။ အားလပ်ချိန်မှာ
အကျိုးရှိအောင်ပညာရှာရင်းနဲ့မိတ်ဆွေတွေ
လည်းတိုးမယ်။ စိတ်ပျော်ရွှင်မှုလည်းရရှိနိုင်
မယ်။

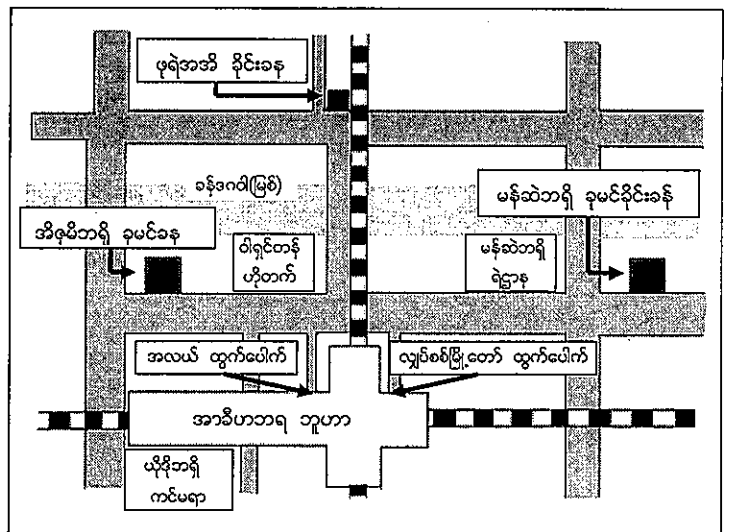
ဆက်သွယ်ရန် ဆရာနာကအို

(၀၉၀-၂၄၁၄-၅၇၆၃)

မနီနီစိုး

(၀၈၀-၂၀၉၂-၇၃၈၉)

<http://www.geocities.jp/mingalarjp/>



(2) 日本語教育指導形式及び内容について

※ 該当する□に✓を入れ、() に記入してください。

ア. 実施日時	☒ 定期 実施回数 1 カ月平均 (8) 回、1 回あたり (2) 時間 活動のない時期とその理由 (年末、年始のみ休み) ☐ 不定期 (理由:)
イ. 指導形式	☐ 教室授業 (クラス編成:) ☐ 個別訪問指導 (件数:) ☒ その他 (グループ別授業)
ウ. 指導場所と回数	☒ 施設等 施設名(日本福音ルーテル藤が丘教会 所在地: 青葉区藤が丘2-31-21) (35) 回 施設名 (所在地) () 回 施設名 (所在地) () 回 施設名 (所在地) () 回 ☐ 学習者の自宅 () 回 ☐ 学習者の勤務先 () 回 ☐ 学習者の学校 () 回 ☐ 指導者の自宅 () 回
エ. 指導内容	☒ 日本語 (入門 ・ 初級 ・ 中級 ・ 上級) ☒ 教科書指導 (科目: みんなの日本語 I 1課~20課、書いて覚える文型練習帳) ☒ その他 (防災教育、ゴミの出し方等生活に必要なことについて全般指導)
オ. 使用教材、リソース	☐ 学生用教材 () ☒ 社会人用教材 (みんなの日本語 I、書いて覚える文型練習帳、文法解説書(英・仏)、その他) ☒ 指導者用教材・参考図書 (みんなの日本語文法英・仏語版、ことばの地図、日仏辞典、絵カード、その他)

(3) 活動状況について

ア. 受講者の募集方法	※ 広報媒体、広報対象や回数を記載し、募集チラシがあれば添付してください。 募集はしていません。
イ. 受講者からの費用徴収	☒ していない ☐ している (円 / 月・回) ☐ その他 ()
ウ. 地方公共団体・公益法人・民間支援団体等との連携	☐ 実施しなかった ☒ 実施した (団体名: 難民支援協会) ☐ 講座の共催 ☐ 公共施設の利用 ☐ 受講者募集 ☒ その他(アパート探しの相談、医療の相談他)
エ. 地方公共団体・公益法人・民間支援団体等からの援助	☒ 受けなかった ☐ 受けた (団体名:) ☐ 指導場所の無償提供 ☐ 活動費 (援助額:) ☐ 教材等 ☐ 活動広報 ☐ その他 ()
オ. 特徴的な授業風景 ○ 特徴が最もよく表れた日の授業の詳細を1回分、記載してください。 ○ 教室風景の写真を1枚、添付してください。 ※ 写真は肖像権および個人情報に配慮し、差し支えないものを添付してください。 必要に応じ適宜、学習者および指導者に撮影の了承を得てください。	9月28日(火) Vグループ 14:00~15:00 ・50音図を使いながら「ひらがな」の読み練習。何度か繰り返す。 ・「あ~さ」までの文字を使い、言葉の読み練習。「あさ、あい、あし、あせ、あき、あか、あお、いす、いし、いけ、さけ他」? ・以下の復習をする。 数字の読み練習 スーパーのチラシを見ながら価格を読む練習 「これ/それ/あれは 何ですか?」 「これは 日本語で 何ですか?」 「上、下、前、後ろ、間、中、横、右、左」 「どこですか?」「あなたのカバンはどこですか?」 絵を見ながら質問 「猫はどこですか?」「公園はどこですか?」 「〇〇は 椅子の上です」「〇〇は 引き出しの中です」等 助詞の「の」の使い方の説明をする。 ・時計を見ながら時間を聞く。 「何時ですか?」 時間の読み方の練習 15:00~15:15 休憩 15:15~16:00 ・時間について練習 ・カレンダーで「今日、昨日、明日」を練習する ・日にちの読み方の練習 今日「〇にち」の読み方のみ練習 ・絵カードを使い「行きます、来ます、帰ります」を練習 「今日、昨日、明日」と一緒に「へ行きます、へ行きました、へ来ます、へ来ました、へ帰ります、へ帰りました」を練習する。

2. 活動の達成度

(1) 活動の達成度を自己評価してください。

ア. 年度当初の学習目標の達成状況 年度当初に提出された活動実施計画書P3.「活動目標」に照らし合わせてください。	a. 年度当初の活動目標 b. その目標を ☐ 達成できた ☒ まあまあ達成できた ☐ 達成できなかった c. その理由：開始時期が6月からと遅く、どこまでできるのかが心配であったが、何とか退所へ向けての準備ができたのではと思う。 人により、習熟度は違うが早い人は自力で家探しを成功させている。ただ、今回は去年と違い出て行く人の期間が短く、当初考えていた所まで進まずうちに退所する人もあり、その先の勉強が継続されるかが懸念される。
イ. 学習者の習得状況	国民性の違いもあるだろうが、国により勉強への取り組み方が違うが、それぞれの能力に合わせて、皆それなりにがんばって勉強している。 去年は大部分の人達が地域の日本語クラスへ通っていたが、今回は「あおば」での週2回のクラスのみの人達が多く、その面では日本語習得の進捗は遅い。
イ. 地域関係者との連携効果	少しでも多くの日本語に接してほしいと、地域のボランティア教室を紹介したが、残念ながらほとんどの人は行っていない。 様々な日本語や日本人に触れることは、日本文化や習慣等を学ぶ良い機会であるが、それが少ないことに不安を感じる。
エ. 今後の改善点・課題	a. 現状と課題 去年の経験から、退所期間を考慮し、必要最低限の日本語習得を目指し、皆でいろいろと検討しながら授業を進めている。言語の習得には継続性が必要であるが、退所が急な人達が多く、新しい場所の情報を渡す機会もなく出てしまう。去年はエスフラ内でのクラスであったため、学習者の生活の様子がよくわかり、実際の場面で、様々な指導ができたが、今回は施設が3ヶ所に別れ、学習者同士のまとまりも今一つで、この先の生活面でのことが心配である。 b. 今後の展望や取り組みの予定 期間が不安定な中、何を優先するのが、なかなか難しい。まずは自分の命、健康を守ること、また地域の中でスムーズに暮らしていくには何が必要なのか等、非言語面での対応や、集団での生活の規則や譲り合いなど、場面を考え教えていきたい。 防災に関しては後期の授業に組み入れる予定である。実際に居住別に地域防災拠点まで歩くことを計画している。

以上

(2) 日本語教育指導形式及び内容について

※ 該当する□に✓を入れ、()に記入してください。

ア. 実施日時	☒ 定期 実施回数 1カ月平均 (8) 回、1回あたり (2) 時間 活動のない時期とその理由 (活動のない時期はありません) ☐ 不定期 (理由:)
イ. 指導形式	☐ 教室授業 (クラス編成:) ☐ 個別訪問指導 (件数:) ☒ その他 (グループ別授業: レベル別)
ウ. 指導場所と回数	☒ 施設等 施設名 (日本福音ルーテル藤が丘教会 所在地 横浜市青葉区藤が丘2-31-21) (76) 回 施設名 () 所在地 () 回 施設名 () 所在地 () 回 施設名 () 所在地 () 回 ☐ 学習者の自宅 () 回 ☐ 学習者の勤務先 () 回 ☐ 学習者の学校 () 回 ☐ 指導者の自宅 () 回
エ. 指導内容	☒ 日本語 (☐ 入門 ☐ 初級 ☐ 中級 ☐ 上級) ☐ 教科書指導 (科目:) ☐ その他 ()
オ. 使用教材、リソース	☐ 学生用教材 () ☒ 社会人用教材 (みんなの日本語、にほんごあいうえお、書いて覚える文型練習帳、絵カード、世界地図、50音表、みんなの日本語初級翻訳・文法解説英語・フランス語版他) ☒ 指導者用教材・参考図書 (ことばのちず、日仏辞典、アフリカに関する本他)

(3) 活動状況について

ア. 受講者の募集方法	※ 広報媒体、広報対象や回数を記載し、募集チラシがあれば添付してください。 募集はしていません。
イ. 受講者からの費用徴収	☒ していない ☐ している (円 / 月・回) ☐ その他 ()
ウ. 地方公共団体・公益法人・民間支援団体等との連携	☒ 実施しなかった ☐ 実施した (団体名：難民事業本部) ☐ 講座の共催 ☐ 公共施設の利用 ☐ 受講者募集 ☐ その他 ()
エ. 地方公共団体・公益法人・民間支援団体等からの援助	☒ 受けなかった ☐ 受けた (団体名：難民事業本部) ☐ 指導場所の無償提供 ☐ 活動費 (援助額：) ☐ 教材等 ☐ 活動広報 ☐ その他 ()
オ. 特徴的な授業風景 ○ 特徴が最もよく表れた日の授業の詳細を1回分、記載してください。 ○ 教室風景の写真を1枚、添付してください。 ※写真は肖像権および個人情報に配慮し、差し支えないものを添付してください。 必要に応じ適宜、学習者および指導者に撮影の了承を得てください。	日付：2月25日(金) 1グループ
	学習者名(国籍)
	出席：—— (ナイジェリア)
	欠席： (コンゴ)
	授業内容 今日が最後の学習日なので、動詞の復習を中心に勉強しました。 1. 「て形」と「ない形」の復習 ます形を「～て (で) ください」「～ないでください」に直す。 予想以上に定着していました。 出来なかったもの：働いて、泳いで、泳がない、脱いで、脱がない 貸さない、待たない 呼んで、読んで、起きない、見ない、開けない、寝ない 2. 「辞書形」の学習をして、わからない言葉を辞書で調べる練習。 辞書を引いた言葉：続ける、捨てる、調べる、生まれる、忘れる 同音異義語の「あめ (雨、飴)」「あつい (厚い、暑い、熱い)」「はし (橋、箸、端)」 アクセントの違いにも敏感に反応して発音した。 3. 21課 「～と思います」 21課 1、21課 2 日本語の「私は」の省略と語順の違いで、初めはとまどったようでしたが、意味をしっかりと確認して、進んで作文しました。
	宿題 ●本日与えた課題：ありません ●前回分点検の結果：ありません
	引継ぎ事項 ある程度日本語の文法がわかったようなので、復習しながら新しい

表現を覚えてほしいです。
辞書には興味を持ったようですので、わからない言葉を自分で調べるでしょう。

その他

帰りに日本人と話しているのを見かけました。「友だち」と言っていました。日本人と話す機会が増えているからか、丁寧体よりも普通体を使うことが多いようです。

どんな場面に丁寧体を使うべきかをしっかり教える必要があると思います。一応説明をしていますが、まだ身についていません。

2. 活動の達成度

(1) 活動の達成度を自己評価してください。

ア. 年度当初の学習目標の達成状況 年度当初に提出された活動実施計画書P3.「活動目標」に照らし合わせてください。	a. 年度当初の活動目標 自立の基本となる就職の際に使用する最低限必要な日本語 b. その目標を ☐ 達成できた ☒ まあまあ達成できた ☐ 達成できなかった c. その理由: 学習者により、退所時期がまちまちで、数回の授業で退所する方たちもいて、人により到達目標とはほど遠い場合もあるが、それなりに日本語での日常的な生活ができるようになった。
イ. 学習者の習得状況	学習者皆が非常に熱心で前向きに勉強している。人により習得に関するセンスの違いはあるが、ほぼ同じ様な進み方をしている。 一番の問題は、やはり漢字である。漢字については時間をかけて覚えなければならず、決められた期間での習得は本人次第による。 母国での修学経験が無い学習者がいるが、彼らなりのやり方で日本語を習得しようと頑張っている姿には感動する。
イ. 地域関係者との連携効果	学習者の方たちが条約難民ということで、地域との連携というものは限られている。毎週通う日本語教室が地域との窓口になっている。緊急の際には彼らと居住区との緊密な連携が必要だが、なかなか地域へ入っていくことは難しいのが現状である。日々の挨拶、ゴミだし等、身近なことから少しずつ地域でのポジションを得ていければと思っている。
エ. 今後の改善点・課題	a. 現状と課題 人により、クラスへの参加数が少なく、新しい地域でも日本語クラスへ参加してほしいと願うが、様々な状況から継続的な勉強ができていないことを知り非常に心配している。 できれば新しい地域の日本語クラスとの連携ができればと思うが現実的には難しい。 当初の目標に少しでも近づけるように日々努力しているが、学習者の置かれた立場からクラス参加期間が限られ、時によりむなしさを感じる。 b. 今後の展望や取り組みの予定 ・限られた時間で、できるだけ実践的な日本語習得を考えていきたい。 ・言葉のみならず、非言語面での行動や、文化・習慣なども体験等を通して教えていきたい。

	・施設内での生活と実際に一人での生活は随分と違って来る。アパートでのトラブルを避けるためにも、日常生活に必要な知識を教えたい。 - 例えば、ごみの出し方、掃除の仕方、近隣との付き合い方等等。 ・自分の命を守るためどうするのかを考える機会を作りたい。 今年度は防災訓練に参加する機会がなかったが、各施設毎に地域防災拠点に関する知識や実際にどう避難するかをグループに分かれ、歩いてみた。 防災に関する知識や病気の際どう・誰に助けを求めるのか、地震の時どう行動するのか、どこへ避難するのか、また急病の際の救急車の呼び方等ももう少し回数を増やして教えたい。 ・学習者の方達の本当の自立とは？をいつも考えながらクラスでの授業に取り込んでいきたい。
--	--

以上

